

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業の成果

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会はミャンマーの村の人々を医療と菜園という2本立てでサポートすることにより生活基盤の充実と母子保健の向上に寄与することを目的としている。ミャンマーにおいては実際の活動現場の選定のために現地の医療ニーズ調査を定期的にMF C Gのメンバーで行なった。これによりミャンマーエーヤワディ州ミャウンミャタウンシップで活動を行なうことを現地市民病院の院長との合意の上で決定した。活動現場の選定で考慮した条件として、①内戦などなく安全である地域であること②ヤンゴンと交通の便がある程度よいこと。③人脈があること、これは代表が2008年のこの地域を襲ったサイクロン時の緊急医療支援活動に従事していること、また2010年から3年間横浜YMCAとの共同移動クリニック活動を行なっている地域であることから人脈がある地域であることが大きな要因となった。また、前年度から継続し保健省とNGO登録の準備と平行して、MOU (memorandum of Understanding) 獲得の交渉を行い、最終的に平成26年3月24日締結することができた。これによりMF C G単独の活動を開始することが正式に可能となった。その他、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを行なった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1. 現地実地調査	平成25年4月18日-5月9日	ミャンマーエーヤワディ州ミャウンミャタウンシップ	6人	不特定	2,093
		平成25年6月26日-7月5日	ミャンマーヤンゴン・ネピトー	1人		
		平成25年7月21日-7月26日	ミャンマーヤンゴン	2人		
		平成25年9月17日-10月19日	ミャンマーヤンゴン・ネピトー・エーヤワディ州ミャウンミャタウンシップ	2人		
		平成25年12月20日-平成26年1月11日	ミャンマーエーヤワディ州ミャウンミャタウンシップ	2人		
		平成26年2月13日-2月19日	同上	1人		

	2. 啓蒙活動報告会 (支援者との交流会、活動報告新聞連載記事・MFCG キックオフイベントなど)	平成 25 年 12 月～ 平成 25 年 9 月 15 日 平成 26 年 3 月 30 日 適宜 (計 23 回催行)	鎌倉朝日連 載記事 イベント JICA 市ヶ 谷ビル 2F 国際会議場	不定 40 人 約 140 人		
社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1. カウンターパートとして考えている孤児院への保健衛生支援	平成 25 年 6 月 26 日～7 月 5 日 の 1 部 平成 25 年 9 月 17 日～10 月 19 日の 1 部	ミャンマー エーヤワ デ イ州ミヤ ウ ンミヤ タウン ンシップ	約 8 人	約 160 人	上記 1 に 含む
災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	実地しなかった					
食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	現地の作物栽培法の実地調査・市場の現状聞き取り・他の NGO 聞き取り調査	平成 25 年 6 月 26 日～7 月 5 日 平成 25 年 9 月 17 日～10 月 19 日 平成 25 年 12 月 20 日～平	ミャンマー エーヤワ デ イ州ミヤ ウ ンミヤ タウン ンシップ	2 人 4 人		上記 1 に 含む
生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出	ミャンマーの農産物の市場調査	平成 25 年 6 月 26 日～7 月 5 日 平成 26 年 2	ミャンマー エーヤワ デ イ州ミヤ ウ ンミヤ タウン ンシップ	2 人 4 人		上記 1 に 含む

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日 時	実施 場 所	従事者 の人数	事業費の 金額 (千円)

平成25年度 事業報告

A. 報告期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日

B. 会議

(ア)理事会

回	日時	場所
第4回	平成25年6月16日(日)12:00～13:40	日暮里サニーホール第二会議室
第5回	平成25年9月14日(土)16:00～18:00	MFCG 事務所

(ア)MFCG 会議（平成25年度より、リーダー会改めMFCG 会議と改名）

回	日時	場所
第04回	平成25年4月13日(土)17:00～20:00	MFCG 事務所
第05回	平成25年5月11日(土)17:00～19:00	同上
第06回	平成25年6月8日(土)17:30～19:30	同上
第07回	平成25年7月14日(土)17:00～20:00	同上
第08回	平成25年8月10日(土)17:30～22:00	同上
第09回	平成25年9月14日(土)17:00～21:00	同上
第10回	平成25年10月19日(土)17:00～21:00	東京都
第11回	平成25年11月9日(土)17:00～20:00	MFCG 事務所
第12回	平成25年12月14日(土)17:00～20:15	荒川区東八会館
第13回	平成26年1月11日(土)17:00～20:15	同上
第14回	平成26年2月8日(土)17:15～20:15	同上
第15回	平成26年3月8日(土)17:00～21:15	同上

C. 会員数 ※平成26年3月31日時点で会費入金済の会員

- (ア)正会員数 17名
(イ)賛助会員数 114名 (内、学生会員2名)
(ウ)法人会員数 6社

D. 広報

(ア)ミタアース通信

第3号：平成25年7月20日発行

第4号：平成25年12月14日発行

(イ)メルマガ発行

※今年度は発行なし

(ウ)ブログ

✓ MFCG ブログ <http://ameblo.jp/myanmarfcg/> 更新履歴

✓ 今年度は更新なし

✓ 名知代表のプライベートブログ <http://ameblo.jp/myanmarfcg-nachi/>

名知代表の個人的ファンにもMFCGの活動を遡及できるよう、MFCG公式ブログとは異なり個人的な日常に起こった出来事や感想を内容に盛り込むようにしている。

更新に関しては名知代表に任せており、できるだけ更新をお願いしている。

(エ)MFCG ホームページ開設 <http://myanmar-clinic.jimdo.com/>

✓ 平成24年7月 現在のMFCGホームページをJimdo上に開設

➤ メンテナンスもボランティアで行なわれており、定期的に更新が行なわれていない状況である。

✓ 平成26年7月にリニューアルの予定。

(オ)MFCG Face Book 開設

https://www.facebook.com/satoko.nachi.5?ref=tn_tnmn

✓ 平成25年2月にface book を開設。：現在560人がいいねしている。

✓ 代表やメンバーがミャンマーに活動にいった時に更新している。

✓ また 事務所でボランティアさんなどが活動している現場の様子やイベントの告知などにも活用。

(カ)イベント実施

実施日	イベント名
平成25年9月15日	残暑を吹き飛ばす！ ドイツワインと料理を堪能するチャリティーイベント
平成26年3月30日	MFCGキックオフイベント ありがとう！そして未来へ ～ミャンマーと日本のいのちを繋ぐ～

(キ)映像による広報活動実施

✓ ミヤウンミヤの様子ができるようにDVD作成し完成させた。

✓ 企業への資金援助をしてもらうためにMFCGの活動見せることを目的に作成。

(ク) 助成金獲得

- ✓ JICA の渡航費用の助成金 HOP STEP JUMP を申請し、2 人分獲得となる。
- ✓ 松下(平成 26 年 2 月)・名知(平成 25 年 9 月)が活用した。

E. 事業活動

(ア)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業

① 現地実地調査

- ✓ 実施目的：ミャンマー現地の状況把握、今後の計画立案に必要な情報収集
- ✓ 調査日程：平成 25 年 4 月 18 日～5 月 9 日
- ✓ 参加者：
 - 名知
 - 協力*帰国中であった Dr. Banyar(MFCG 医療班・賛助会員)
- ✓ 報告内容：
 - ※ MFCG 会議／ミタァース通信を通じて会員に向けて報告済
 - 第 5 回 MFCG 会議(平成 25 年 5 月 11 日(土))
 - ミタァース通信 3 号(平成 25 年 7 月 20 日)
 - 1. 実際にミャンマーで、医療または菜園の活動を行っている団体及び個人を訪問。
ミャンマーの現状、MFCG との提携の可能性、今後 MFCG が現地で活動するにあたり準備すべき事項などについて調査を実施した。
<訪問先>オアシス、JICA、AMDA、地球市民の会、アジア学院卒業ミャンマー人、その他ミャンマー人等
 - 2. MOU 獲得と INGO 申請など政府との交渉が必須なため、ミャンマー保健省に人脈があり、また 長年他の NGO で活動経験のあるミャンマー人医師 Dr.Tin Oo に月 14 日間だけパートタイムで関わっていただくことにした。
 - 3. ミャンマーカウンターパートとなる団体の提携方法を検討中。
- ✓ 今後の課題：現地で活動するためのMOU取得等

② 現地実地調査

- ✓ 実施目的：ミャンマー保健省との MOU 締結のための申請書作成・保健省との交渉
- ✓ 調査日程：平成 25 年 6 月 26 日～7 月 5 日
- ✓ 参加者：
 - 名知
 - Dr. Tin Oo
- ✓ 報告内容：
 - ※ MFCG 会議／報告済
 - 第 7 回 MFCG 会議(平成 25 年 7 月 14 日(土))
 - 1→ミャンマー保健省の INGO 登録課の Dr.Yen Min Htwe と MOU 締結に向けて面談を行なう。
また選定場所や活動内容に関してアドバイスを頂く。
 - 2→アジア学院出身のミャンマー人に菜園に関する活動内容に助言をもらう。

③ 現地実地調査

- ✓ 実施目的：ミャンマー保健省との MOU 締結のための申請書作成
- ✓ 調査日程：平成 25 年 7 月 21 日～7 月 26 日
- ✓ 参加者：
 - 酒井 (MFCG 医療班・正会員)
 - Dr. Tin Oo
- ✓ 報告内容：
 - ※ MFCG 会議／報告済
 - 第 8 回 MFCG 会議 (平成 25 年 8 月 10 日 (土))
 - 1→ミャンマー保健省と MOU 締結に向けて書類の作と活動内容の確認。
 - 2→アジア学院出身のミャンマー人 Sekina さんに菜園に関する活動内容に関して指導可能な適任者の依頼を行ない、面談を行なった。

④ 現地実地調査

- ✓ 実施目的：ミャンマー保健省へ MOU 提出書類の完成と提出
- ✓ 調査日程：平成 25 年 9 月 17 日～10 月 19 日
- ✓ JICA の HOP STEP JUMP の助成金で渡航費用を使用
- ✓ 参加者：
 - 名知
 - Dr. Tin Oo
 - 高橋 (ヤンゴン在住の MFCG ボランティア会員)
- ✓ 報告内容：詳細は別途報告書参照
 - ※ MFCG 会議／ミタァース通信を通じて会員に向けて報告済
 - 第 10 回 MFCG 会議 (平成 25 年 10 月 19 日 (土))
 - ミタァース通信 4 号 (平成 25 年 12 月 14 日)
 - 1→ミャンマー保健省と MOU 提出に関して最終合意を得るためにネピトーを公式に訪問し保健大臣と面談を行なった。最終的に MOU 申請書類を提出した。また INGO 登録のための種類も各省庁 (内務省・外務省など) に提出した。
 - 2→現地となるミャウンミャの市立病院の病院長と面談を行ない、活動地の最終選定と活動内容について承諾を得た。
 - 3→現地の孤児院を訪問し衛生状態及び 彼らが運営している菜園の状況について前回と比較して改善点などの検討と問題点の対策を行なった。
- ✓ 今後の課題：現地で活動するための INGO 登録等

⑤ 現地実地調査

- ✓ 実施目的：ミャンマー保健省へ MOU 提出後の進捗状況の確認と現地の状況調査
- ✓ 調査日程：平成 25 年 12 月 20 日～平成 26 年 1 月 11 日
- ✓ 参加者：
 - 名知
 - Dr. Tin Oo
- ✓ 報告内容：
 - ※ MFCG 会議／報告済
 - 第 13 回 MFCG 会議 (平成 26 年 1 月 12 日 (土))
 - 1→ミャンマー保健省で MOU 及び INGO 進捗の状況を得た。

- 2→現地となるミャウンミャの市立病院の病院長と面談を行ない、活動地の現在の状況と活動内容についてさらに詳細な検討を行なった。
- 3→現地の孤児院を訪問し歯ブラシ・スリッパなどの寄付をし衛生に関して子どもたちの知識の向上を図った。

- ✓ 今後の課題：現地で活動するためのINGO登録を確実にする。

⑥ 現地実地調査

- ✓ 実施目的：MOU 進捗状況の確認と現地の状況調査及びカウンターパート探し
- ✓ 調査日程：平成 26 年 2 月 13 日～2 月 19 日
- ✓ JICA の HOP STEP JUMP の助成金で渡航
- ✓ 参加者：

- 松下（医療班・ 学生会員）

- ✓ 報告内容：詳細は別途報告書参照

※ MFCG 会議にて報告済

- 第 15 回 MFCG 会議（平成 26 年 3 月 8 日（土））

1→ミャンマー保健省に提出した MOU 書類がミャンマー保健省の担当者が変更になったため、停滞している状態であることが判明した。

そこでミャンマー側の MFCG サイドの責任者を探し、その協力者に今後、MOU 進捗をお願いすることにした。

依頼先は元東大の大学院に留学していた Dr. Soe Tun であり、MFCG の現地代表として彼の秘書 Ms. SueSue が担当することになった。

2→ミャウンミャの市立病院の病院長と面談を行ない、現状の再確認を行なった。

3→現地の孤児院を訪問し現状の把握と今後の課題の洗い出し、さらにどのように活動を行なうか検討した。カウンターパートの団体を検索し、模索した。

4. →カウンターパート探しのため現地の寺院など、さまざまな団体や人物と面談し可能性を探した。

5. →現地の作物栽培に関して現状の把握を行ない、問題の検討を行なった。

- ✓ 今後の課題：現地で活動するためのINGO登録等

✓

⑦ 現地パートナーとして可能性のあるミャンマー人と面談

- ✓ 実施目的：現地で活動を行なうにあたりパートナーとして事業を行なうことが可能かどうかの打診のための面談

- ✓ 調査日程：平成 26 年 4 月 19 日(土)13：30-15：30

- ✓ 面談場所： 千葉県

- ✓ 参加者：

- 服部理事、松下（医療班・ 学生会員）

- シェインさん（ミャウンミャ出身・以前千葉大の留学生・現在はヤンゴンで JICA などのコンサルタントを行なっている。千葉にも会社があり、帰国中）

- ✓ 報告内容：詳細は別途報告書参照

※ 現地パートナーとしての可能性や委託事業として正式に委託が可能であるかなど話し合いを行なった。

⑧ 啓発活動

講演会 計 22 回実施 (依頼講演：22 回 ラジオ出演：1 回)

依頼講演：22 回

回数	日時	主催者	会場	テーマ
1	平成25年 5月23日	厚木倫理法人会	FORUM246	聴診器一本でミャンマーの医療と向き合う
2	平成25年 5月25日	神奈川県民医連	TKP 横浜ビジネスセンター カンファレンス ルーム7A	国際医療の現状と活動を通じてみえること
3	平成25年 5月24日	スルガ銀行	東京ミッドタウン ミッドタウンタ ワー7階	これが私の生きる道:ミャンマーに医療と 希望を ～日本人女医:名知仁子の挑戦～
4	平成25年 5月27日	鎌倉市倫理法人会	鎌倉芸術館 第一集会室	山桜イブニングセミナー 「私にできること」
5	平成25年 5月28日	鎌倉市倫理法人会	由比ヶ浜公会 堂	経営者モーニングセミナー 名知仁子の活動について
6	平成25年 6月6日	JCC キャリアカウンセリング研究会	立正大学	生きる道
7	平成25年 6月11日	鳥取市	鳥取市文化セ ンター	これが私の生きる道:ミャンマーに医療と 希望を ～日本人女医:名知仁子の挑戦～
8	平成25年 7月15日	カリタス学園	カリタス女子 短大 大教室	一歩先ゆく先輩からのアドバイス 「今だからできること いつでもできること・・・」 ミャンマーでの国際医療の経験から
9	平成25年 8月17日	文京区倫理法人会	東京ガーデン パレスホテル	生きる 国際医療の現場から見えること
10	平成25年 8月20日	小野智史様	マジシャンズ レッド(バー)	仕事終わりのビジネスマン・ウーマン向け に ミャンマーについて、MFCG のプリグラムに ついて知っていただく
11	平成25年 9月4日	(株)人材ラボ	(株)人材ラボ 研修室	自身の「ミッション」「ビジョン」の実現のため に いかに仕事や人生の道を切り拓いてきたか
12	平成25年 9月4日	足立区西倫理法人会	ホテルパイン ヒル西新井	モーニングセミナー MFCG の活動について
13	平成25年 9月4日	あきゆらいず美養品 森の学校事業部	FM 西東京 (9月7日放 送)	人のすべてを診る、あたたかい「手当て」
14	平成25年 9月13日	逗子葉山倫理法人会	キングプラザ カルティオ	
15	平成25年 10月26日	船橋コーティングの会	船橋中央公 民館	これが私の生きる道:ミャンマーに医療と 希望を ～日本人女医:名知仁子の挑戦～
16	平成25年 10月31日	町田市倫理法人会	ホテル ラポ ール千寿閣	経営者モーニングセミナー 名知仁子の活動について

17	平成25年 11月9日	荒川区立峡田小学校	荒川区立峡田小学校 2Fアリーナ	これから中学生、大人へと成長して行く子供たちに、 これからの生き方を考えさせる機会を与える
18	平成26年 2月7日	市立福栄中学校	福栄中学校 第一学年教室	「職業教育」について
19	平成26年 3月1日	荒川区立男女平等推進センター	男女平等推進センター (アクト21)	「命の平等を考える」 ～ミャンマーの医療支援から見えること
20	平成26年 3月8日	相模原市倫理法人会	小田急ホテル センチュリー 相模大野	「名知仁子の体験談」
21	平成26年 3月25日	鎌倉市倫理法人会	由比ヶ浜公会堂	「MFCG 活動の現地報告」
22	平成26年 3月28日	朝霞市倫理法人会	浜崎会館	①自身の半生について ②ミャンマーで活動を始めた経緯 ③日本人のミャンマーでの活動・行動での良い点悪い点 ④ミャンマーの現状から日本人が役に立てること ⑤倫理を学んで自身の人生に活かせる良さなどについて

(イ)社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業

- ✓ カウンターパートとして考えている孤児院への保健支援
- ✓ 日程：平成25年6月26日-7月5日の1部・
- ✓ 平成25年9月17日-10月19日の1部
- ✓ 平成25年12月20日-平成26年1月11日の1部
- ✓ 場所：ミャンマー ミャウンミヤ
- ✓ 内容：
 - カウンターパートとして考えている孤児院へ歯ブラシの寄付を行った。
 - また 現地で彼らが営んでいる農場を訪問し、現状の把握を行なった。
- ✓ 結果
 - 彼らの生活に必要な栄養素などの把握ができた。
 - 彼らの食生活に必要な栄養源について助言することができた。

(ウ)災害その他緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業 実施なし

(エ)食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業

- ① 現地実施調査 平成25年6月26日～7月5日
(ア)の②参照
 - ② 現地実施調査 平成25年9月17日～平成25年10月19日
- ✓ 調査内容：
 - 菜園のキーパーソンになり得る人と共にカウンターパートとして活動を共にできるかどうかの協議を行なった。

- 現地での作物栽培に関して実態と課題、改善点などについて議論し、対策を考えた。
彼らが自立可能な体制作りを共に考え、今後の活動に活けせるようにした。

③ 現地実施調査 平成 25 年 12 月 20 日～平成 26 年 1 月 26 日

✓ 調査内容：

- 1 年を通じて栽培可能な作物や市場により変動のない作物栽培の調査など。
現地の NGO やミャンマー有機栽培協会の方と面談し情報交換などを行なった。

④ 現地実施調査 平成 26 年 2 月 13 日～平成 26 年 2 月 19 日

(ア) の④、⑥参照

(オ)生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業

① 現地実施調査

(ア) の④、⑥参照

平成26年度事業計画書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業実施の方針：

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会はミャンマーの村の人々を医療と菜園という本立でサポートすることにより生活基盤の充実と母子保健の向上に寄与することを目的としている。平成25年度に活動地の選定がなされミャウンミヤに決定し、保健省とMOU (memorandum of Understanding) も締結した。これから現地事前調査を行ない、現地の住民と信頼関係を築きつつ、移動クリニックを行う予定である。移動クリニックで感染症などの実際の医療活動を主にし、手洗い等の保健衛生啓蒙活動などを行っていくことを計画している。菜園に関し、作物の栄養について学び、かつ栄養吸収される効果的な調理方法についても一緒に考え、実行していく。さらに、自分達で栽培可能な作物を選定し家庭菜園を実行する計画も予定している。その他、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを開催する。また、日本に住んでいるミャンマー人の健康促進に寄与するために年2回ほど無料健康相談会を計画している。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	(a) 医療事前調査	2014年7月～10月	ミャンマー エーヤワデー州 ミャウンミヤタウン シップ	1～3人	ミャウンミヤ地域の住民 不特定	6,593
	(b) 臨床医学の実施・予防医学(保健衛生)啓蒙活動(移動クリニック等)	2014年11月以降(月2回・5村)	同上	5人	ミャウミャウ地域の住民80人/1村、不特定	(A)(a)に含む。
	◎ 参加型スタディツアーの実施	2014年11月 その他	同上	2人	10-15人	
	(d) 現地人との交流促進会議開催	適宜	同上		ミャウミャウ地域の村長など	
	(e) 日本での報告会開催等/依頼講演会など	2-4回・3ヵ月毎	日本			
(B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	(a) 移動クリニック	2014年11月以降(月2回・5村/回)	ミャンマー エーヤワデー州 ミャウンミヤタウン シップ	5人	ミャウミャウ地域の住民80人/1村、不特定	(A)(a)に含む。

	(b) 日本におけるミャンマー人対象の健康相談会	年 2 回	日本	各 20 人	ミャンマー人各 40 人/1 回	
(C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	(a) 特発的に生じた災害に対する調査・医療援助等					
(D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	(a) 菜園事業にかかる事前調査・準備活動	2014 年 7 月以降	ミャンマー エーヤワデー州 ミヤウンミヤ タウンシップ	1~3 人		(A)(a)に含む
	(b) 作物栽培・作物の栄養・調理法に関する教育活動	2015 年 2 月以降 (月 2 回・5 村/回)	同上	5 人	ミャンマー人 20 人/1 村、母親・先生等	
(E) 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	(a) 栽培作物の購買ルート開拓等					

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
	無し				